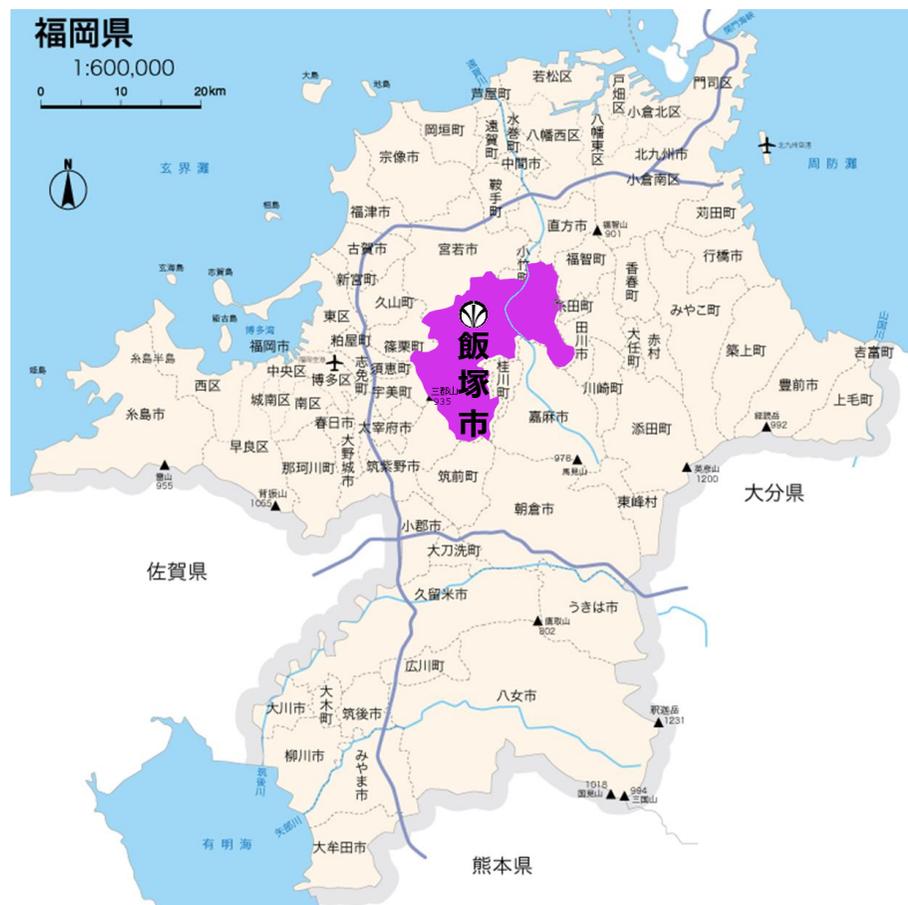


飯塚市企業局

水道施設運転管理及び料金収納等業務

10年委託と業務効率化

# 飯塚市の紹介



飯塚市（いづかし）は、福岡県の中部に位置する市で、筑豊三都の一つに数えられます。筑豊で最大の人口を擁し、筑豊の政治・経済の中心機能を持つ都市でもあります。

## 飯塚市の人口と面積（令和4年4月末現在）

- ✓ 人口：126,141人（福岡県内第4位）
- ✓ 世帯数：63,238戸
- ✓ 面積：213.96km<sup>2</sup>（福岡県内第7位）

### 概要

- ✓ 江戸時代 長崎街道が整備された交通の要衝
- ✓ 明治～昭和 石炭産業で繁栄
- ✓ 昭和30年代 エネルギー革命により石炭産業の衰退（炭坑閉山）
- ✓ 昭和40年代 学園都市（2大学・1短期大学を誘致）
- ✓ ～ 現在 IT関連の施設・企業を集積  
情報産業都市、健幸都市 e.t.c.

平成18年3月26日に1市4町（飯塚市・穂波町・筑穂町・庄内町・  
額田町）が合併し、新「飯塚市」が誕生

# 1. 飯塚市水道事業の概要および課題

## ・沿革

年 月	主なできごと
大正14年12月	給水開始 ・ 計画給水人口 12,000人 ・ 1日最大給水量 2,250 m <sup>3</sup> /日
昭和24年 ～平成13年	筑豊炭田の発展等に伴う事業拡大 (第1期から第7期拡張事業)
平成18年3月	1市4町の合併 (飯塚市・穂波町・筑穂町・庄内町・潁田町)
平成19年6月	第8期拡張事業 ・ 計画給水人口 128,760人 ・ 1日最大給水量 60,220 m <sup>3</sup> /日

## ・施設の概要

施設分類	数 量
水源地	22箇所
浄水場	9箇所
配水池	19箇所
加圧ポンプ場	16箇所

・業務量（令和3年度）

給水戸数	59,671 戸
給水人口	122,207 人
年間総配水量 (A)	14,297,905 m <sup>3</sup>
有収水量 (B)	12,460,822 m <sup>3</sup>
有収率 (B/A)	87.15 %

・経営指標（令和3年度）

経常収支比率	92.23 %
料金回収率	90.55 %
有形固定資産減価償却費	47.53 %
管路経年化率	25.64 %
管路更新率	0.63 %

・職員数（令和4年3月31日現在）

特別職	事務員	技術員	業務員	計
1	9	15	3	28

抱えている課題

- ① 【収益の悪化】 給水人口の減少および節水機器の普及・機能向上
- ② 【老朽化・耐震化対策】 法定耐用年数を経過した本管管路を数多く保有  
浄水場などの施設耐震化にも遅れ

## 2. 「飯塚市水道施設の運転管理及び料金収納等業務委託」の背景・目的

- 業務委託および料金収納率（現年分）の経緯

### 料金収納業務委託

年 度	委 託 先
H22~H24	A 社

### 運転管理業務委託

年 度	委 託 先
H19~H21	B 社
H22~H24	C 社

H25年度より、運転管理と料金収納を一括発注

年 度	委 託 先	料金収納率
~H21	(直 営)	97.70%
H22~H24	A 社	97.69~97.79%
H25~H29	C 社	97.55~97.90%
H30~R4	ケイ・イー・エス 第一環境 共同企業体	98.14~98.66%

## “10年間委託”の背景・目的

平成19年度：運転管理業務、平成22年度：料金収納業務を外部委託

平成25年度：包括業務委託

両業務ともに持続して安定的に質の高い業務を提供

今回、さらなる水道業務の効率化を図り、新規業務追加  
追加業務は、習熟することに一定の期間が必要（10年間で設定）

委託期間を10年とすることで計画的な人材育成・安定雇用を確保

質の高いサービスを継続して市民の皆様提供できると判断

### 3. 飯塚市水道施設運転管理及び料金収納等業務の概要

#### 水道施設運転管理業務

##### ○運転操作監視業務

運転監視、データの記録・整理 等

##### ○水質管理業務

薬注管理、採水及び水質検査、原水監視 等

##### ○設備等の保安全管理業務

設備等の日常点検、定期点検、調整及び交換、簡易な故障の修理

##### ○環境整備業務

施設の清掃、敷地内の除草及び植栽管理、施設場内、場外の清掃

##### ○修繕業務（追加）

設備・機器等の軽微な修繕（200万円／年）

##### ○調達及び管理業務

薬品類（追加）、備消耗品類の調達及び管理

##### ○その他の業務

各種データの記録、整理、分析、施設見学及び各種学習会対応 等

#### 対象施設

有人浄水場： 5箇所

無人浄水場： 4箇所

配水池： 19箇所

## 料金収納等業務

### ○料金収納関連業務

窓口受付、検針、水道料金の賦課・徴収、調停・収納、給水停止

### ○電子計算処理システム構築・保守管理業務

料金システムの構築・保守管理・運用、検針機器の保守管理・運用

(追加)

### ○メーター関連業務

メーター発注・在庫管理、検満取替、開閉栓作業、私設メーター取替指導

### ○給水装置関連業務

給水装置及び漏水等窓口・受付、協議・申請・契約書の確認、審査、回答  
給水装置等の工事立会、指導、検査、バルブ操作 等

### ○水道管路関連業務

漏水修繕工事の各関係者及び住民への連絡調整、立会、バルブ操作、洗管  
管路漏水・宅内漏水の調査及び管路施設・水管橋等の目視点検 等

## 4. 飯塚市水道事業にとってのメリット・デメリット

### メリット

#### ・ 運転管理業務

1. 10年間に亘り豊富な災害訓練・シミュレーション

2. 各種ポンプは、更新から10年程度でオーバーホール

更新やオーバーホール時期を受託者が責任をもって判断、提案

3. 将来の浄水場等の大規模改修

10年間の委託実績に基づく意見を施設改修計画や改築工程に反映

4. 軽微な修繕を委託に業務追加

施設の不具合に早期対応＋職員の事務軽減

5. 薬品類の調達・管理に伴う事務軽減

## • 料金等収納等業務

1. 追加業務の給水窓口と管路維持管理業務

↓

職員人事異動による業務の質の変動を軽減  
+  
安定したサービスを継続して提供

2. 5年ごとのプロポーザルに要する事務作業が不要

3. 料金システムの5年毎の契約更新時に要する開発費用を軽減

4. 窓口業務等の追加業務を外部委託

↓

窓口業務に従事していた技術職員を配置替え

↓

老朽管更新事業に集中、推進

## デメリット・リスク

1. 契約期間中に人件費や資材費が大きく変動する可能性

## 5. 今回の受託者選定のポイント、受託者への期待

### • 選定で評価したポイント

1. 地元人材の雇用・育成、有期労働契約から無期労働契約転換の方針
2. 災害、緊急時のバックアップ体制
3. 収納率向上への取組み
4. 追加した新規業務に対する他事業体での業務実績
5. 各種新規提案

### • 受託者への期待

1. これまでの4年間で収納率が年々向上しており、今回の10年委託において、更に収納率の向上が図られるものと期待
2. 各種の新規提案事項（簡易漏水調査「L-Chaser」の設置、電子決済の導入支援、広域化支援等）を10年間で確実に実行・検証することにより、未来に向けた本市水道事業の発展に寄与

## 6. 飯塚市水道事業の持続・発展に向けた抱負・展望

本市水道事業では、新水道ビジョンに掲げられた「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点から目指す方向性を設定している。

水道事業は、全国的に昭和40年代に設置した多くの施設が老朽化し、近年の異常気象や地震により甚大な被害が発生している。

「飯塚市水道事業経営戦略」においては、施設・設備に6.2億円／年、管路に6.8億円／年（6.0km）の更新投資を実施し、施設・管路の強靱化を図る計画としており、また将来的には各浄水場の大規模改修が発生することから、確実かつ能率的な経営により改良資金を積立て、給水人口に合わせたダウンサイジングや新技術の導入等により施設の更新を図り、次世代につながる事業を展開していく。

この“戦略”を確実に実現していくため、現在行っている水道事業の包括的な委託業務の範囲を拡大していくなどにより、更なる能率的な経営に努めるとともに、民間の技術・ノウハウを最大限に活用し、公共においては余力を全て老朽化した施設・管路の更新に集中して費やしたいと考えている。

# 「飯塚市水道事業ビジョン」

## 【基本理念】

いつまでも安全  
いつまでも安心  
ぶよくて（強くて）頑丈な施設  
かくじつ（確実）な経営  
の水を皆様に届けます

安全、強靱、持続を  
バランスよく  
計画的に  
実施します。



人が輝き まちが飛躍する 住みたいまち 住みつづけたいまち  
～共に創り 未来につなぐ幸せ実感都市 いいつか

2022

ご清聴ありがとうございました。

旧伊藤伝衛門邸

勝盛公園

嘉穂劇場

